

第3期・第4期における市町村接種率 向上に係る取り組みに関する調査集計

(注)平成23年12月に予防接種実施状況調査と併せて調査を実施した。(回答期限平成24年1月6日)
年度途中での調査のため、平成23年度の情報については、最終実績とは異なる場合がある。

大阪府健康医療部保健医療室地域保健感染症課

【個別通知について】

		平成22年度		平成23年度	
		第3期	第4期	第3期	第4期
通知回数	1回	19	14	14	11
	2回	19	22	22	25
	3回	4	7	6	7
	その他	1	1	1	0
通知時期	4月	26	33	26	33
	5月	7	6	6	5
	6月	1	1	2	2
	7月	2	4	3	4
	8月	2	2	4	4
	9月	1	1	1	1
	10月	2	2	2	2
	11月	2	2	2	1
	12月	4	3	5	5
	1月	7	9	11	12
	2月	13	13	12	13
	3月	2	3	1	1

- 個別通知はすべての市町村で実施しており、2回通知が約半数であった。
- 接種率上位5自治体は、個別通知をおおむね2回以上実施している。
- 第3期については、教委と連携して市立中学校における啓発チラシの配付などが行われている。
- 第4期については、個別通知を送付しているものの、第3期のように高校における啓発活動はあまり実施されていない。ただし、一市のみ高校と連携し、懇談時に直接保護者へ啓発を行っていた。

【市町村における独自の取組について】

▽取り組み例▽

- 広報誌への啓発記事掲載(複数回)
- ホームページへの掲載
- 中学校入学説明会で次年度の対象者に啓発チラシを配布
- 個別通知以外に、保護者懇談等で保護者への勧奨文書や啓発チラシ配布
- 未接種者への電話による勧奨
- ポスターの掲示 など

【広域化について】

- 20市町村(7地域)で広域化を実施している。

平成23年12月末時点で平成22年度比の接種率が 上昇している市町村及び接種率上位の市町村の取り組み

- 集団的接種の実施回数を増やした。
(大阪市 第3期 51.1%→75.0%)
- 中学校、高等学校での保護者懇談会などで、保護者に接種勧奨の文書や啓発パンフレットの配付を行った。
(泉大津市 第3期 63.9%→87.9%、第4期 51.3%→52.8%)
- 複数回の個別通知以外に市教委との協力のもと、未接種者に対して接種勧奨を行った。
(太子町 第3期 93.3%→94.1%、岸和田市 第3期 53.0%→61.6%、
岬町 第3期 58.2%→65.6%)
- 未接種者に送付している個別通知に、特に平成23年度は麻しん、風しんが流行している旨を記載した。
(四條畷市 第3期 58.5%→69.6%、第4期 49.9%→51.4%)